

News 港湾ニュース

■「北海道マリンビジョン 21 コンテスト 2016 表彰式」について

北海道開発局 農業水産部 水産課

平成 29 年 7 月 3 日に「北海道マリンビジョン 21 促進期成会」（以下、「期成会」という）の総会が関係者約 80 名の出席により札幌市内で開催され、総会に併せて、「北海道マリンビジョン 21 コンテスト 2016」の表彰式が行われましたので報告します。

各地域で策定された地域マリンビジョンの実現に貢献する優れた取組を表彰し、取組の更なる推進や他地域への活動の普及を図るため、期成会が主催し、当局の後援により「北海道マリンビジョン 21 コンテスト」を平成 20 年度から開催しています。

今回、第 9 回目となるコンテストでは、個別取組部門(期成会長賞)に羅臼地域マリンビジョン協議会及びウトロ地域マリンビジョン協議会が受賞し、それぞれ関係者に表彰状が授与されました。



羅臼地域への表彰状授与の様子



ウトロ地域への表彰状授与の様子

受賞した取組の概要は以下のとおりです。

羅臼地域

これまで元漁業者によるガイドを実施していましたが、地域資源を活用した体験メニューの拡充による周遊ツアーの充実化と関係者との連携による受入体制の強化を図り、知床羅臼の自然を体験する交流拠点形成を目指し、町民ガイドによる観光案内を実施するため、認定制度を導入しました。これまでは無許可で市場への出入りや撮影するなど課題も生じていたことから、衛生管理や安全面に配慮した見学ルールを再設定しました。漁業の観光資源化を図るため、町民ガイドの募集・研修会を実施し、10代から70代までの72名を認定しました。幅広い年齢層と様々な職種の方々に関わる町民参加型の活動であり、漁業中心の町から観光に目を向ける町民が増えるなど、他地域への参考となる良い事例となっていることが評価されました。

ウトロ地域

サケ定置網漁業の操業風景は、普段は見られない光景であり、漁業のPRへの活用も期待できることから、観光資源化が望まれていました。一方、同じ海面を漁業作業、観光船運航で利用しているにもかかわらず、相互理解不足となっていたほか、観光客の活動時間と合わないなどの課題もあったことから、情報交換会を開催し、安全情報の共有、相互の連絡体制の確立を図るため、関係者による試行を行い、見学時のルールを確認しました。平成 28 年からは、一般の参加者を対象にモニターツアーを実施しました。内容は、網起こし見学のほか、同年度から供用開始したウトロ漁港の人工地盤 2 階からの荷さばき作業の見学、漁協婦人部食堂での朝食、ふ化場見学を組み合わせたものとなっています。サケを生産から流通、増殖の視点で紹介するなど地域の資源を活用した取組が着手されたと言うことができ、今後の発展性に期待されることが評価されました。